

# コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2023年1月3日

[新型コロナウイルス第7波における感染と予防・リスク行動との関連 | 研究プログラム | 東京財団政策研究所 \(tkfd.or.jp\)](#)

## 【松崎雑感】

近い将来にメジャーな医学雑誌に投稿されると思いますが、日本で3万名近くを対象とした新型コロナに関連する行動研究が発表されました。中心となった研究者の方々の多くが、私といろいろな意味でお世話を頂いた方々です。是非とも「コントロール+クリック」で本文をお読みいただければと思います。

# [新型コロナウイルス第7波における感染と予防・リスク行動との関連 | 研究プログラム | 東京財団政策研究所 \(tkfd.or.jp\)](#)

東京財団政策研究所

THE TOKYO FOUNDATION FOR POLICY RESEARCH

[お知らせ](#) [イベント](#) [お問合せ](#) [アクセス](#) [MAIL MAGAZINE](#)

[当財団について](#) ▾

[研究プログラム](#) ▾

[研究員](#)

[人材育成プログラム](#) ▾

[CSR研究](#)

SEARCH

> [健康・医療・看護・介護](#) > [新型コロナウイルス第7波における感染と予防・リスク行動との関連](#)



写真提供：Getty Images

Review [健康・医療・看護・介護](#)

## 新型コロナウイルス第7波における感染と 予防・リスク行動との関連

December 26, 2022

[医療](#)

[規制](#)

[新型コロナウイルス](#)

[新型コロナ：その他](#)

# 論文執筆チーム



研究員  
• 中村 治代



• 主席研究員  
• 徳田 安春



• 主席研究員  
• 田淵 貴大



• 研究主幹  
• 渋谷 健司

## サマリー

1. 2022年9月から10月にかけて全国28,630人（16歳から82歳）の男女を対象に実施されたアンケート調査データを用い、直近2カ月の新型コロナウイルスへの感染と感染予防・感染リスク行動との関連について解析を行った。
2. 新型コロナ第7波において、25歳未満は65歳以上と比較して1.9倍感染リスクが高かった。さらに、医療従事者であること、家族と同居していること、基礎疾患があることが有意なリスク要因として確認された。
3. オミクロン株BA.5が主流であった第7波において、ワクチン接種を4回受けていた人と比べ、受けていなかった人（0～3回接種者）は感染リスクが1.7倍から2.5倍高かった。
4. 感染リスクが有意に低かったのは、不要不急の外出を控えていた人と、清潔でない手で目・鼻・口を触ることを避けていた人達であった。月数回以上、居酒屋やバー、スポーツ観戦、性風俗店、縁日など地域の行事に出掛けていた人達は、出掛けなかった人達より、それぞれ1.2倍、1.3倍、1.8倍、1.3倍感染リスクが高かった。夕食時に店内を利用していた人達は、その頻度にかかわらず、利用しなかった人達より1.4倍から1.5倍感染リスクが高かった。
5. これまで励行されてきたマスクの装着、手のアルコール消毒、手洗い、ソーシャルディスタンス等は、感染リスク回避に有意な差が見られなかった。オミクロン株の特性に合わせ、感染予防効果が限定的だとされる行動制限は徐々に解除していくべきだと考えられる。